

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「信州松代 e スポーツ&伝統文化の祭典」(仮称) 開催事業
事業主体 (連絡先)	信州松代観光協会 長野市松代町松代4-1
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,680,410円 (うち支援金: 2,142,000円)

事業内容

松代町の文武学校を活用した e スポーツ大会やゲームプログラミング教室の開催を通じて、若い世代に松代の魅力を伝え関心を持ってもらい、再来訪に繋げる。また、伝統文化体験を通じて、後継者育成の課題にも取り組む。

- ① e スポーツ体験会 7月27日 46名参加
- ② ゲームプログラミング勉強会 9月29日 15名参加
- ③ 前夜祭 10月5日 参加者 約40名参加
- ④ 信州松代 e スポーツ&伝統文化の祭典 10月6日(日)
 - ・長野市松代町 文武学校 約300名参加
 - ・ゲームプログラミング教室 34組参加
 - ・伝統文化体験 66名参加

事業効果

- ① 今回の祭典などに約400名が参加し、若い世代の比率が約11%、県外参加者が約4%前回に比べ増加した。アンケートでは約9割が「非常に楽しかった」や「次回も参加したい」と回答があった。
- ② 伝統文化体験では、66名と多くの参加者があり、弓道においては、体験希望が多く希望に応えられない状況となった。
- ③ 事業全体を通して、地元の多くの住民の方が運営に協力していただき、特に祭典では、地元の中学生・高校生の16名がゲームプログラミング教室等のサポーターとして、活動していただいた。

今後の取り組み

- ・松代町で e スポーツを定着させるには、地元の理解と協力が欠かせないため、引き続き体験会の実施や地元の広報媒体である『松代テレビ』などを活用し、e スポーツ活動の情報発信や PR に努める。
- ・今後、より多くの若い世代に祭典へ参加してもらうため、e スポーツの初心者向けのコンテンツ導入や、伝統文化体験の実施方法について検討する。
- ・地元の高校では、今回の事業への参加を契機に e スポーツ部の設立が検討されており、実現に向けて可能な限りのサポートを行う。



【e スポーツ大会の様子】

【目標・ねらい】

- ① e スポーツ大会等を通じて、若い世代が松代町に関心を持ち訪れてもらう。
- ② 伝統文化体験を通じて、松代町の伝統文化に関心を持ってもらう。
- ③ 地元の学生や住民と協働して、地域の魅力を発信するイベントを実施する。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・若い世代の来場者の比率は約11%、県外からの参加者の比率は約4%と前回に比べ増えた。
- ・アンケート結果では、「非常に楽しかった」や「次回への参加希望」が約9割を占めた。
- ・伝統文化体験者の66名のうち約83%が「良かった」との回答があった。
- ・地元の中学生・高校生16名がイベントのサポーターとして活動し、協働してイベントを盛り上げた。

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	戸隠古道「神道(かんみち)」の歴史と景観を守る「西行千年桜の杜」事業
事業主体 (連絡先)	戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会 (事務局) 026-254-2888
事業区分	自分らしく活躍できる元気な地域づくりの推進
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,588,400円(うち支援金:1,270,000円)

事業内容

昨年度からの3カ年計画の2年目として事業。
戸隠神社火之御子社の境内で倒木した「西行桜」(オオヤマザクラ)の子孫の苗木を、住民参加のもと、火之御子社周辺の神道(かんみち)沿いに植樹するとともに、地元小学校の地域学習の場などを通じて、この「西行桜の杜」を、およそ百年後となる「西行法師生誕千年祭」に向け次世代に脈々と継承していくものとして実施した。一方、植樹地の間伐によりうっそうとしていた樹林に日光が入り明るく見晴らしを確保することができ、人気の戸隠古道「神道」の歩行者に対してもクマ等の獣害事故の防止対策にもつなげることができた。

- ・植樹地の整備 約600㎡(伐採)
- ・オオヤマザクラ植樹 32本
- ・戸隠小学校での学習会29名参加(5・6年生)



戸隠小学校での学習会の様子

【目標・ねらい】

- ① 歴史ある西行桜の継承
- ② 神道(遊歩道)の景観整備
- ③ 間伐・藪払いによる獣害対策

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

2年目となり、戸隠古道「神道(かんみち)」の歴史的価値の醸成・啓発を地域住民に対し一層浸透することができた。また、「西行桜の杜事業」は、若者や子供たちに対しても地域の誇りとして次世代に継承していく足場となった。

- ・直接的醸成啓発効果参加者延べ60人
- ・広報等による間接的醸成啓発効果300人

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

西暦2118年の西行法師生誕千年となるエポックイヤーに向けて夢を描き、先人が遺してくれた奥社参道の杉並木のように、「西行千年桜の杜」として西行桜(親桜)近くの「神道(かんみち)」沿いに今後も計画的に植樹し、大切に伝承していきたい。また、「西行千年桜の杜」は、開花期の他、紅葉期にも観光に訪れ歩く人に感動と癒しを与え続けられるよう、後々の世代にも地域の誇りとして歴史的意義も繋いでいくものとした。*令和7年度で植樹事業は完了予定。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価【B】

【理由】

・植樹期の天候不順で予定本数が縮小となった。また、植樹が降雪期までずれ込み、作業も難航したが、計画の中での最低限の植樹本数は確保できた。一方、予定より少なかったが植樹への住民参加とともに、地元小学生に対しても学校連携の中で啓発活動ができ、次年度へ向けて弾みがついた。